

心こころの長幼ちようよう — 無常むじやうに調ととのえる。徒いたずらに流ながされない — (二版)

気きに入いる入いらぬで褒ほめ誘そしる
幼おきなき心こころは直ちよくじよう情じようならん

快かいふかい不快きよほうへん・毀き譽よ褒ほう貶へん

心こころに適かなうに出逢であいしも

自おのずと慎つつしみ己おのれを正ただす

長ちようじた心こころ

添そわぬも慈じひ悲ひを養やしなわん
常つねに修善しゆぜんを願ねがうべし

己おのれが己おのれの依より所どころ

己おのれこそ

是ぜ非ひを肯うけがう心こころを育そだて

己おのれの依よる辺べ

自おのれ己おのれの大事だいじに目覚めめなん

己おのれをおきて

勝手かつてをするも慎つつしむも

誰たれに依よる辺べぞ

自じ作さ自受じじゆすべ全かえて返かえるなり

能よく調ととのえし

能よく調ととのえし己おのれにこそが

己おのれにこそ

真しんの依よる辺べを見みいださん

まこと得えがた難えき

自じ重ちようを心こころし精進しやうじんせん

依よる辺べをぞ得えん

宮城みやぎ県けん大崎おほさき市し 瑞川みづがわ寺てら住職ぢゆうしやく 木村きむら謙文けんぶん